

福島県立ふたば未来学園高等学校 人材育成要件・ルーブリック(7 May 2018 Ver.)

協働
創造

| 学力概念 | No | 資質・能力・態度(まとめと) | レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | レベル5 |
|---|----|--|--|--|---|--|--|
| 知識 Knowledge "What we know" | A | 社会的課題に関する知識・理解 一般常識や基礎学力をつけながら、世界・社会の状況の変化やその課題を理解するための知識を身に着ける。 | 地域や社会の成り立ちについての基礎的な知識を得る。 | 地域の復興に向けた課題や、目の前の課題についての基礎的な知識を得る。 | 環境・エネルギー問題など持続可能な社会実現に向けた課題や、世界の状況・課題について基礎的な知識を得る。 | 社会の課題について、習得した知識を深堀し、周辺情報や関連情報を集め理解する。 | 社会の課題について、目の前の課題と関係する知識を俯瞰してつなげ、人に説明できるレベルまで理解する。 |
| | B | 英語活用力 英語を使つてのコミュニケーションができるようになる。 | 英語でコミュニケーションをとろうとする関心・意欲・態度を持ち、自分のことについて英語で簡単に伝えられる。 | 自分の興味関心のあることや、地域について英語で説明できる。 | 地域や研究内容について、原稿を元に英語でスピーチし、簡単な質疑応答ができる。(CEFR A2レベル) | 地域や研究内容について、即興で英語でスピーチし、意見交換ができる。(CEFR B1レベル) | 地域や研究内容について、ストーリー、データ、事例などを交えながら英語で説得力を持って主張し、議論できる。(CEFR B2レベル) |
| 技能(スキル・コンピテンシー) Skills "How we use what we know" | C | 思考・創造力 物事を論理的に考え、批判的思考で掘り下げ、スケールの大きな考え方ができる。 | 与えられた情報を整理できる。 | 目の前にある課題やその解決のための内容を論理的に掘り下げて考えることができる。 | メディアを活用して情報を集め、情報を分析・評価・活用しながら課題を発見したり設定できる。 | 現実と理想の差を踏まえながら、広い視野・大きなスケールで既知の事実について批判的に考えることができる。 | 未知のことについても粘り強く考え、自分の考えや常識にとらわれずに創造的に考え、新たなアイデアを生み出せる。 |
| | D | 表現・発信力 どのような場でも臆することなく自分の考えを発信でき、他者の共感を引き出せる。 | 自分の意見や考えを、集団の前で話すことができる。 | 突然指名されたときでも憶せず、集団の前で、自分の意見や考えを相手に伝えるように表現することができる。 | ICTを活用したり、データや事例を紹介しながら、自分の意見や考えを相手に伝えることができる。 | 多様な人々へ、相手の立場や背景を考えながら分かりやすく伝えることができる。 | 多様な人々へ、 熱意とストーリーを持って腑に落ちる形で説得力ある発信 を行い、共感を得ることができる。 |
| | E | 他者との協働力 異文化・異なる感覚の人・異年齢等を乗り越え、仲間と協力・協働しながら互いに高めあえる行動が取れる。 | 集団や他者との中で、決められたことや指示されたことに一人で行き届くことができる。 | 集団や他者との中で、自分の役割を見つけ、個性を活かしながら行動でき、身近なメンバーの支援もできる。 | 集団や他者との中で、他者の良さに共感し、新たなものを取り入れながら、共通の目標に向かって活動を進めることができる。 | 集団や他者との中で、互いに良い部分を引き出しながら、win-winの関係を作ることができる。ICTを活用して協働を促進することができる。 | 文化や国境を越えて、社会を変革する行動にうつし、互いに高めあう同志としての関係をつくれる。 |
| | F | マネジメント力 自分や組織での取り組みを計画性を持って進めることができる。 | 指示を受けながら作業を実施できる。 | 指示を待たず、自発的かつ責任を持って自分の作業を実施することができる。 | 全体にとって必要な作業を見出し、自分の作業に優先順位をつけて、複数の課題に同時に対処することができる。 | 作業の繋がりや、全体スケジュールを意識し、チームやメンバーで作業を適切に役割分担できる。 | 今後のスケジュールやリスクを把握して、リスクへの対応策をチームで確認しながら進めることができる。 |
| 人格(キャラクター・センス) Character "How we engage in the world" | G | 前向き・責任感・チャレンジ 自分を意味ある存在として考え自信を持ち、課題解決のために自分の役割を見つけ、全力で取り組み、決してあきらめず遂行できる。 | <u>自分を意味ある存在として考え、物事をポジティブに捉えることができる。</u> | 自分に自信を持ち、目の前の課題を自分のこととして好意的に捉えて、主体的に取り組める。 | 集団や他者との中で、自分の役割を見つめることができ、すぐに解決方法が分からなくても考え続けることができる。 | 困難にぶつかっても自分の責任を果たす努力をし、困難克服のために、前向きにチャレンジし、まず行動できる。 | 困難にぶつかっても逃げずに自分の責任を果たし、失敗してもその失敗を糧とできる。 |
| | H | 寛容さ 異文化や考えの違う他者を受け入れ、思いやるあたたかさを持ち、協調して共に高めようとすることができる。 | 集団や他者との中で、他者を気づかえる。 | 集団や他者との中で、相手の立場や考えを想像し、共感できる。 | 集団や他者に対して、思いやりをもって行動し、周囲の幸せを考えることができる。 | 考えの違う他者に対して、ユーモアを持って接するなど、他者との違いを楽しむ。社会や環境の変化を前向きに捉えられる。 | 考えの違う他者の意見や存在を、自分や社会をより良くしていくための重要なものと考えて受け入れられる。 |
| | I | 能動的市民性 社会を支える当事者としての意識を持ち、地域や国内外の未来を真剣に考えることができる。 | 所属する集団の一員としての自覚を持つ。 | 社会の一員としての自覚を持ち、社会の抱える問題に目を向けようとする。 | 社会をより良くしようと、社会の主体としての意識を持ち、社会がより良くなるための考えを持つことができる。 | 社会に貢献しようとする意欲と自分の価値観を持ち、自ら社会に影響を及ぼそうとする。 | 社会・未来を良くしようとする志を持ち、自分自身の意見を他者に真剣に語るができる。 |
| 自らを振り返り変えていく力(メタ認知) Metacognition "How we reflect and learn" | J | 自分を変える力 自分の言動や行動を俯瞰して見つめ直し、常に改善しようとする意識を持ち、次の行動に繋げることができる。 | 自分を向上させるために、自分自身で目標を立てることができる。 | 自分を向上させるために、自分の目標と現実の差を見つめることができる。 | 自分の目標に近づく方策を考え自ら行動することができる。 | 自分の目標の達成のための行動を、常に自分自身で見直して反省しながら、学び続け、次の行動につなげて取り組むことができる。 | 社会の中での自分の役割や意義を俯瞰して考え、自分の目標と関連づけて大局的に行動できる。 |

自立